

日本共産党 和歌山市会議員

# ひめだ高宏ニュース

NO.1212

18.8.7

## 夏の暑さにサヨナラしたい

「命の危険に関わる暑さに注意」などと言われると、サヤッと外に出ていく気持ちになります。去年まではほとんど使わなかったクーラーですが、使いたすにはまず、そのせいか夏風邪がひりません。8月7日は立秋、もう秋の入口なんです。

## 県・県教委のブロック塀調査

7月24日(火)和歌山県と県教育委員会が、民家などのブロック塀の点検結果を公表しました。通学路を含む約1万か所で、法令に適合しない恐れがあるブロック塀が見つかるとのことです。法令で定められた高さを超えたり、控之壁がなかったりするなど「危険」と思われる「ブロック塀は計1万651か所。通学路とそれ以外を比べると県内各所の比率は下表のとおりです。

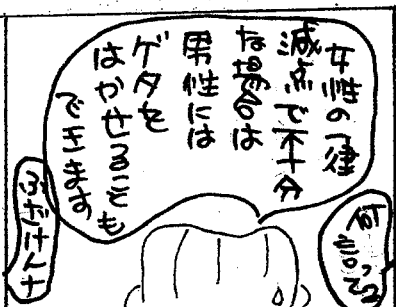
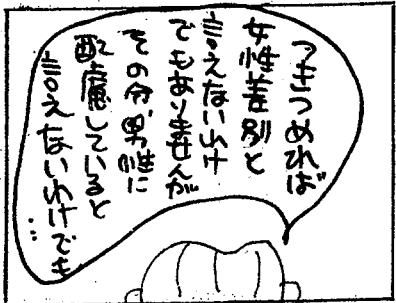
市名	危険と思われるブロック塀		
	通学路	その他	
和歌山市	1046	598	448
海南市	168	168	0
橋本	724	704	20
有田	400	373	27
御坊	141	97	44
田辺	251	235	16
新宮	84	32	52
紀ノ川	641	167	474
若出	56	54	2
和歌山県計	10,651	4,508	6,143

所有者が民間の場合、自治体が強制的に撤去できます。判断は所有者に任せられます。県は「塀の改修や撤去について専門的な相談ができるようにしたい」として、建築士約150人の各専ら建築住宅線のサヤとして公開。無料相談ができます。和歌山市には、撤去や改修費の助成制度があります。

## フワのん人々



(995)



## 次子息のお知らせ

どこへも出かけませんが、8月12日(土)19日(水)の市旗日曜版が10年号となるため、次号のひめだニュースは、8月26日(土)の市旗日曜版よりコミになります。

## 今週のフワのん人々

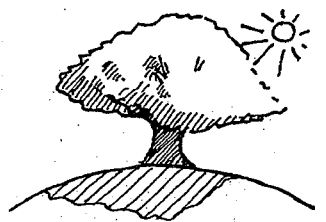
(その158)

### 東京イカ大学

文部科学省の局長が私立大学支援事業選定の対象校として東京医科大学に便宜を図った見返りとして、同大学を受験した自分の息子の入試の点数を加算してもらい不正合格させて受託買賄罪で逮捕されたこのニュース。税金を使って裏口入学させたのは、どこまで根拠が腐っているのかとゴミクリ。その東京医科大学では、女性受験者の半数が一律に減点していたことが判明。今年2月の入試では受験した男性の数は女性の1.6倍だったのに、合格した男性は女性の約4倍にもなり、過去10年間の入試でも同じ傾向だった。女性の一律減点で女性差別を行った関係者は「女性は結婚や出産で医師を辞めるケースが多いため制限した」と理由づけしています。最低?...いや、それイカヤな!



ひめだ高宏



# 市のブロック塀撤去費用補助

和歌山市では、建築基準法に規定する道路に面している危険なブロック塀（コンクリートブロック塀、レンガ塀、石塀等）の撤去費用やフェンスなどの軽量の塀へのやりかえ費用に対する補助制度があります。

市報わかやまの目次の最終面に補助制度の内容が掲載されています。主な内容は、次のとおりです。

補助内容	内容
①	撤去費または1万5000円×長さ(m)の低い方の金額の9/10 ⇒最大40万円
②	軽量の塀の新設費または1万5000円×長さ(m)の低い方の金額の9/10 ①+② ⇒最大40万円

申込期限 12月21日(金)まで  
 ◎事前相談が必要。  
 [お問い合わせ先] 市役所 8階  
 住宅政策課(電話) 073-435-1099

## ふるさと納税 松坂みち子

**原水爆禁止世界大会**  
 今日(5日)は、広島で書いている。5000人集まった開会集会。海外23か国から1000人近く参加。まさしく世界大会。総がかり行動共同代表の

福山真劫氏の「核兵器廃絶の運動など、分裂している場合ではない」との話しに、思わず「そのとおり!」と。分科会は「被爆体験の継承・実相普及と援護・連帯活動」に参加。被爆者の体験を聞き、自分の言葉で伝えることの難しさを実感しました。

核兵器禁止条約は14か国



松坂みち子 (県議定候補)

が批准(2週間前)は1か国でした。他の条約と比べても決して遅いペースではないと思う。世界中に「核兵器廃絶のため」に活動している人がたくさんいます。

**松坂ブロック(中・東・南) 合同**  
**ぶどう狩と 見学バスツアー**  
 9月17日(月・敬老の日)  
 参加費 4500円 (バス代、ぶどう狩、昼食等)  
 小学生以下の子どもは2500円(弁当ご持参下さい)  
 【バス】高山病院 8:45 和歌山中央病院前 8:55  
 和歌山中央病院前 9:05 浜の宮陸橋 9:10  
 申し込みは、お近くの後援会様か、私、ひめだまで!

# 大門みき(参院議員) 参院議員 参院議員 参院議員

暑中お見舞い申し上げます  
 先日、ある地域の共産党後援会のおついでで、70歳くらいの男性が、じぶんの地域の現状を報告された。と、「うちの後援会も高齢化で体力がなくなり、むかしほど動けなくなった。大門さんどうしたらいいですか?」と質問されました。体力がないといながらも10分以上もしゃべり続けられたので、「大丈夫ですよ、そこだけしゃべれば、選挙は体力よりクチですから」と申しあげたら、みねさん大笑いされました。

活動家といわれた方々が高齢化してきているのは事実ですが、みねさん元気で明るい。いま日本では、元気が組合は、年金者組合ではないかとおもうくらいです。政府は、「高齢化で社会保障費が大変だ」と

宣伝しますが、責任を押しつけている。お金の問題は高齢者を大事にしない政治のほうだ。高齢者についても、私にとっては、お見さん、お姉さんの年代です。炎天下、年長の党支部長さんと「しんぶん赤旗」のおすすめで地域を歩くと、雨のふる街頭演説でマイクをにぎる私の横で、傘をささずにタテ看板をもつてくたさる(この年齢の女性の姿をみるとき、この方のこの確信はどこからくるのだろうか。とふと考えることがあります。たまたかの蓄積と生きてきた時間の重みでしょうか。すべしのは、みねさん、そんなかんじをみじんも表に出さず、あ、けらかんとして明るくしています。

暑い日はまた熱いです。くれぐれもご自愛ください。